

## 平成 2 5 年 1 月の解説（週間天気予報）

### 【1月の天候状況】

上旬は、冬型の気圧配置となる日が多く、北日本から西日本の日本海側では曇りや雪の日が多くなり、太平洋側では晴れの日が多くなりました。2 日頃は低気圧が発達しながら北日本を通過後、強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、日本海側では大雪や暴風雪となった所がありました。沖縄・奄美では気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

中旬は、期間のはじめは高気圧に覆われて全国的に晴れた所が多くなりました。13 日～14 日には低気圧が急速に発達しながら日本の南岸を通過したため、全国的に荒れた天気となり、東日本や東北地方の太平洋側では平地でも積雪となり、大雪となった所がありました。その後は冬型の気圧配置となる日が多く、日本海側では曇りや雪または雨となり、太平洋側では概ね晴れました。沖縄・奄美では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日もありました。

下旬は、期間の前半は本州付近を通過した低気圧や気圧の谷の影響で、東・西日本で曇りや雨の日が多く、北日本は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。25 日頃に低気圧が発達しながら北日本を通過した後は、北日本を中心に冬型の気圧配置が続きました。このため期間の後半は、北日本や東・西日本の日本海側では曇りや雪の日が多く、大雪や暴風雪となった所がありました。東・西日本の太平洋側では概ね晴れました。沖縄・奄美では、高気圧と気圧の谷や寒気の影響を周期的に受け、天気は数日の周期で変わりました。

月平均気温は、北日本から西日本にかけて低く、沖縄・奄美では平年並でした。月降水量は、北日本の太平洋側、西日本の日本海側で少なくなりました。北日本の日本海側、東日本、西日本の太平洋側、沖縄・奄美では平年並でした。月間日照時間は、北日本から西日本にかけての太平洋側でかなり多く、北日本から西日本にかけての日本海側で多くなりました。沖縄・奄美では平年並でした。降雪の深さ月合計は、東日本の太平洋側で多く、北日本、東日本の日本海側、西日本では平年並でした。

### 【1月の検証結果】

「降水の有無」の適中率（3～7 日目の平均）は、全国平均では 74%と例年値<sup>(注)</sup>より 1 ポイント高くなりました。地方毎の適中率は、沖縄地方では例年値より 10 ポイント高く、関東甲信地方と九州北部地方で 5～6 ポイント高くなりましたが、北陸地方では 5 ポイント低くなりました。

最高気温（2～7 日目の平均）の予報誤差は、例年値程度の地方が多く、全国平均では 2.1 で例年値と同じになりました。最低気温（2～7 日目の平均）の予報誤差は、例年値と同じか例年値より小さい地方が多く、全国平均では例年値より 0.1 小さい 2.0 になりました。

<sup>(注)</sup> 例年値は気象庁 HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

### 【3月の週間天気予報の利用にあたって】

3 月は地方によって気温の差が大きく、月平均気温の平年値では北海道地方と沖縄地方で 20 近い気温差があります。また、低気圧が接近すると南からの暖かい風が吹き込んで気温が上がり、通過後は北からの冷たい風が吹き気温が下がります。このため、寒暖の変動が大きい時期もあり、4 月頃のような暖かさから一転して、2 月頃の寒さとなることがあります。週間天気予報の利用にあたっては、天気とともに気温の変化にも留意して下さい。